

ファシリテーター用資料 ～十人十色の子育て&親育ち～【親のみちしるべ】ステージ⑤「第2子誕生」～ライバル出現?!～

対象		第2子が誕生した親、保護者であるが、参加者は限定しない。 *対象者だけでプログラムを進めるよりも色々な立場の人が参加した方が、視野が広がり、気持ちが楽になる。(実践者のアンケート結果による)				
方法		参加型学習 (P:計画 D:実行 C:チェック A:改善・行動 サイクルを大切に実践する。)				
時間		90分程度 (臨機応変に)				
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災を経て、子育てをしていくことに不安を抱えている親を含め、参加者が子育てへの希望をもち、安心できるようにする。 『カンペキな親なんていない』『子育ての悩みや不安は誰にでもある』ということに気づき、肩の力が抜けてリラックスできるようにする。 子育て仲間をつくるきっかけをつかんでもらう。 <p>*2人目が生まれると、親として嬉しい反面、上の子は問題行動を起こしてわがままになる、いわゆる赤ちゃん返りが起きたりして、上の子とどう接すれば良いのかイライラも増え、場合によっては上の子の気持ちを理解しながら、子どもの気持ちを受けとめて愛情を行動にどう出せるかを考える。また、母親(父親)も一人で頑張りすぎないようにするためのアイデアを考える。</p>				
進行のポイント		<ol style="list-style-type: none"> ゆっくり進めましょう。時間配分はあくまで目安です。 心をゆったりさせるために話す言葉もゆっくり、穏やかにしましょう。 笑顔で進めましょう。参加者に緊張感を与えないよう、うなずきや共感も大切にしましょう。 参加者のペースに合わせて進めましょう。 「書きたくない、言いたくない時は無理をしないでくださいね」と言っておきましょう。 『参加型学習』ということを意識して進めましょう。 参加者同士がプログラムを進めながら、自然に作られていく雰囲気大切にするため、評価をしたり、否定をしないで参加者と同じ目線で寄り添いながら進めましょう。 ファシリテーター自身が『楽しく』進めましょう。 				
事前準備		①『親のみちしるべ』ステージ⑤のシート ②ペン・マジック ③模造紙 ④大きいサイズの付箋紙 ⑤掲示できるボード ⑥予算があれば簡単なお菓子、飲み物等 ⑦行政発行の資料や子育て関係のパンフレット等 ⑧ステージ⑤に必要なグッズ(ここでは、ミニ紙芝居、ネーム用折り紙、グループ分けくじ引きボックス、くじ引き用の紙、絵本『ちょっとだけ』、メッセージカード、頑張ってるねカード等)				
時間	段階	参加者	形態	ファシリテーター	留意点	備考
15分	はじまり	<p>◇席に着く。</p> <p>◇参加ルールを確認する。</p> <p>①アイスブレイク</p> <p>◇わらべうたを歌う ◇グループ分けのくじ引きを引く。 ◇自己紹介をする。 ◇折り紙ネームを胸に付ける。</p>	一斉	<p>◇会場の雰囲気づくりに配慮する。 ◇笑顔であいさつする。 ◇プログラムの趣旨を説明する。 第2子誕生にあたり生じてくる悩みや課題を共有し合うことで心の負担を減らし、子どもの気持ちを受け止めるヒントをつかんでほしいと伝える。 ◇明るくファシリテーターの自己紹介をする。 ◇参加ルールを伝える。</p> <p>①アイスブレイク(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> わらべうたを紹介し、一緒に歌う。 赤、黄、緑などの色紙をたたんでおいたくじ引きボックスで、くじを引いてもらう。(4~5人のグループを作ってもらう) <p>・各自ネームをつけてグループ内で自己紹介してもらう。(ネームは本名でなくてもOK)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔で始める。 全員がゆったりとした気持ちになれるよう落ち着いて進める。 6つの参加ルールを確認する。 参加者の人数や雰囲気に応じて和やかに進める。 わらべ歌を歌いながら、楽しく身体をほぐせるように明るく進める。 30秒くらいで各自自己紹介を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 受付・資料確認 ハートの折り紙ネーム マジック ペン くじ引きボックス くじ引き用の紙

15分	展開1 気付き	<p>②グループワーク1</p> <p>◇ミニ紙芝居を見る。</p> <p>◇付箋紙に「親の気持ち」「子どもの気持ち」「どうしたら良いか」アイデアを書き、模造紙に貼る。</p>	グループ	<p>②グループワーク1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ紙芝居を見てもらう。 ・「この時の子どもの気持ち」「親の気持ち」「どうしたら良いか」アイデアを書いてもらう。 ・グループ内で発表しながら付箋紙にどんどん書き出してもらい、それを模造紙に貼り出してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者全員が気持ちよく参加できるように配慮する。 ・参加者全員が聞き取れるようにゆっくりと話す。 ・すぐに書き出せなくても、少し時間をかけて待ってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ紙芝居 ・ワークシート ・付箋紙 ・ペン ・マジック ・模造紙 ・お菓子や飲み物等
20分	展開2	<p>③発表</p> <p>◇各グループごと模造紙に貼った内容を発表する。</p> <p>◇子育ての不安や悩みの根源を考えてみる。</p>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙に張り出された意見をカテゴライズ（整理）してもらう。 ・各グループごとに発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書きたくない、話したくない人には無理強いをしない。 ・他の人が話す時は、しっかり聴いてくださいねと促す。 <p>※評価をしたり答えを導かないように。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・模造紙 ・付箋 ・マジック
25分	展開3	<p>④絵本読み聞かせ</p> <p>◇絵本『ちょっとだけ』を聴く。</p> <p>⑤メッセージ記入</p> <p>◇子どもへメッセージを書く。</p> <p>◇書いたメッセージを発表したい人だけ発表する。</p>	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせをする。 ・メッセージは各自じっくり書いてもらう。 ・発表は「発表しても良い」人のみに発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした気持ちで、全体に対してしっかりと聞こえるように絵本を読む。 ・子どものことを想いながら落ち着いてメッセージが書ける状況を作る。 ・ゆっくり振り返りの時間を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本『ちょっとだけ』 ・メッセージカード ・ペン
15分	まとめ	<p>⑥振り返り</p> <p>◇ファシリテーターから頑張ってるねカードを受け取る。</p> <p>◇アンケートを記入する。</p> <p>◇グループ内であいさつを交わす。</p>	一斉・各自	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ってるねと書いてあるカードを参加者にプレゼントする。 ・アンケート用紙を配りアンケートを記入してもらう。 ・あいさつ（例） 「今日はありがとうございました。また、お会いできる日を楽しみにしています。」 「グループの皆さん同士もあいさつを交わしてください。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で頑張ってるねカードを渡す。 ・一期一会の気持ちを込めてあいさつをする。 	<p>頑張ってるねカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙 ・ペン
各自	フィードバック	<p>◇家庭での話題づくりにつなげる。</p> <p>◇一人になった時に自分と向き合い、もう一度振り返る。</p>	各自	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であればアンケートをまとめ、後日配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば写真を撮り、内容を後日配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙 ・振り返りシート